

次回の日本家畜臨床感染症研究会学術集会で教育講演
『免疫学の新世界：粘膜での防御と共生』をお願いしている清野先生のご紹介

東京大学医科学研究所炎症免疫分野教授
清野 宏（きよの ひろし）先生

清野先生は、これまで粘膜免疫学の学問体系確立とその理論的背景確立に向けた粘膜免疫機構の基礎的解明に従事されており、国際的に活躍されておられる粘膜免疫学の第一人者です。最近では、基礎研究のみならず臨床応用を目指した粘膜ワクチン、粘膜アジュバント、粘膜免疫療法の開発に関する研究にも力を注がれており、新興・再興感染症を含む感染症予防に貢献出来る粘膜ワクチン開発を挑戦的に進められております。またワクチンに限らず、粘膜疾患に対する免疫療法のツールとしてコメ型経口医薬品の開発にも取り組んでいます。さらには腸内環境因子（腸内細菌や食餌性成分）による腸管免疫制御機構の解明を、細菌ゲノム解析技術や食品科学、イメージング技術との融合研究によって取り組んでおられます。これらの知見をもとに、腸管免疫恒常性維持機構の解明を行うと共に、病態細胞を標的とした新規予防・治療法の開発を進めておられます。

先生のグループで開発されたこれらの技術は、家畜の感染症の予防・治療にも将来応用出来る可能性が非常に高く、産業動物獣医療に従事する我々にとっても大変興味あるところであります。先生には、当日『粘膜免疫システムの基礎とその臨床応用の可能性』について、専門外である我々にも理解しやすくお話して頂けるようお願いしています。

皆様お誘い合わせの上、多数のご参加を待ち申し上げます。

先生の研究教育活動

米国歯科医師国家試験委員（1988－1993）、米国NIH科学研究費審査委員（1992－1997）、日本学術振興会科学研究費審査委員（2005年－2006年）、厚生労働省ワクチン研究開発ワーキング・グループ（2005年－2006年）、文部科学省タンパク3000プロジェクト食品委員会（2006－2007年）、日本学術会議連携会員（2006年－現在）、医科学研究所副所長（2007年－現在）、日本免疫学会理事（2005年－現在）、国際粘膜免疫学会理事長（2005－2007年）、国際粘膜免疫学会理事（2003年－現在）、日本ワクチン学会理事（2003年－現在）等。

これまでの先生の受賞歴

米国 NIH New Investigator Award（1984年）、Research Career Development Award（1988年）、第51回野口英世記念医学賞（2007年）、日本ワクチン学会高橋賞（2007年）、日本食品免疫学会特別賞（2009年）

※

事前に先生の研究室のホームページ(http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/EnMen/index_j.html)をご覧ください。一層先生のご講演が楽しめると思います。こちらどうぞ！